

# 大阪船員保険病院だより

第48号 平成22年 7月

大阪船員保険病院

〒552-0021

大阪市港区築港1-8-30

TEL06-6572-5721

## 眼科紹介

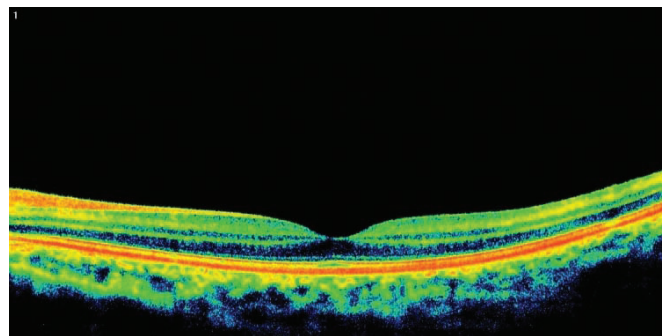
眼科部長 檀上 幸孝

前回平成20年3月号の病院だよりで眼科紹介をさせていただいて早くも2年余り経過しました。まさに光陰矢のごとしです。眼科医療は日進月歩で2年経過しますとかなり様相が変わってまいります。当科もこの2年の間に、様々な新しい検査機器や治療技術を導入いたしました。今回はそれらについて簡単ですがご紹介いたします。

### ①光干渉断層計（OCT）

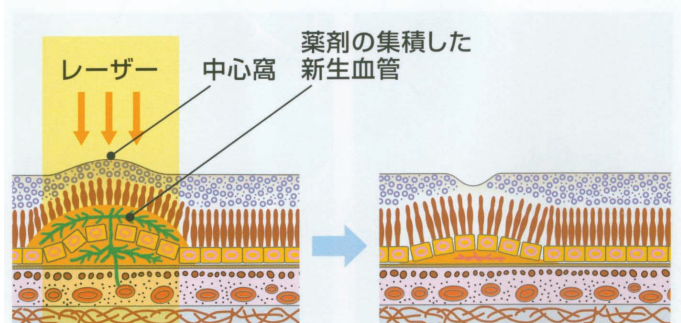
網膜や視神経の3次元（3D）画像解析装置です。網膜硝子体疾患や緑内障の診断や治療に必須のものとなっています。

【右図は、正常な黄斑（網膜の中心部）の断面図です。】



### ②光線力学的療法（PDT）

加齢黄斑変性症に対する治療法で、光に反応する薬剤と特殊なレーザー光線照射を組み合わせることで新生血管を閉塞させて病気の進行を止めます。通常のレーザー治療とは異なって正常な網膜に対する影響が小さいとされています。

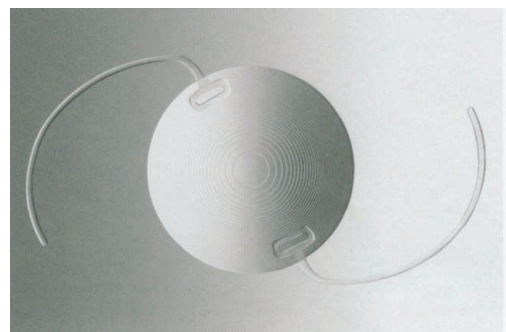


### ③抗新生血管薬眼内注射

加齢黄斑変性症に対して、新生血管を抑制するために眼内に抗新生血管薬を注射します。ルセンティスやマクジェンなどがあります。進行を止めるだけでなく、視力が改善することもあります。

### ④焦点眼内レンズ

従来の白内障手術で使用される単焦点眼内レンズと異なって遠方も近方も眼鏡なくしてある程度見ることができます。先進医療が適用され、手術費用（レンズ代込みで32万円）以外は健康保険が適用されます。ただし、乱視が強い場合などは眼に合わないことがありますので、診察を受けてご相談ください。



このように私どもは最高レベルの眼科医療をご提供すべく、これからも新しい技術を皆様に還元していく所存ですので、よろしくようお願い申し上げます。

# 予防接種の お知らせ

**予防接種（ワクチン）**には対象年齢が規定された**定期の予防接種**と、おたふくかぜ、水痘等の**任意の予防接種**があります。任意のワクチンは経費がかかりますが、病原体にさらされても発症をまぬがれる、または軽い経過で治癒することを考えますと、ワクチンは健康への確実な投資ともいえます。

当科ではH i bワクチン（ヘモフィルスインフルエンザ菌 b型ワクチン）の他、小児肺炎球菌ワクチン（沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン）と、子どもの病気ではありませんがヒトパピローマウイルスワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）も本年4月から始めました。

また、アレルギー（食物アレルギー、薬剤アレルギー等）があつて接種に際して注意を要するお子様でも、予防接種が受けられるように**接種前にアレルギーの評価を行って健康状態を把握してから接種します**ので初診の方でも安心してワクチンが受けられます。アレルギーでワクチン接種ができていないお子様はぜひ当科ワクチン外来をご利用ください。

ところで、現在のわが国で接種できるワクチンは下記のとおりで、**これら病気では発症予防が可能**です。

1) **定期の予防接種**で予防が可能な疾患

結核／ジフテリア／日本脳炎／破傷風／百日咳／風疹（三日ばしか）／ポリオ／麻疹（はしか）

2) **任意の予防接種**で予防が可能な疾患

インフルエンザ／黄熱病／おたふくかぜ（ムンプス）／A型肝炎／B型肝炎／狂犬病／コレラ／水痘／天然痘／肺炎球菌感染症／インフルエンザ菌 b型感染症（H i b感染症）／ワイル病・秋やみ

子宮頸がん

この中で黄熱病、狂犬病、コレラ、天然痘とワイル病・秋やみは日本の小児では一般的ではありません。ですから**海外渡航の機会がある人以外は接種の必要はありません**。



現在、**日本脳炎ワクチンは新しい製剤**になっています。また、一昨年（平成20年）4月から麻疹風疹（MR）ワクチンの接種は暫定制度ですが4回接種となっています。このように**予防接種は制度を含め変更が多い**ので常に留意しておく必要があります。

また、大切なことはワクチンは健康な時に接種するということです。たとえば、川崎病で大量のガンマグロブリン治療を受けた方は6か月間接種ができません。熱性痙攣等、痙攣性疾患の場合も病後は接種間隔をあける必要があります。一方で新しく導入されたワクチンは年齢にもよりますが複数回接種が原則ですのであらかじめスケジュールを組んでおく必要があります。当科では他のワクチンとの同時接種で利便性を図っていますが、保護者の方は母子手帳等にお子様の接種の記録を残しておくことが大変重要です。

とかく幼い子どもは発熱しやすく、ワクチンの接種間隔が不規則になったり、接種そのものができていない場合もでてきます。わからない時はぜひ当科外来にご相談ください。

ご参考までに



・ Hib ワクチン	7,350円／回	1～4回
	(年齢により異なります)	
・ 小児肺炎球菌ワクチン	9,450円／回	1～4回
	(年齢により異なります)	
・ ヒトパピローマウイルスワクチン	17,850円／回	3回
	(いずれも税金を含む金額です)	

### 小児科外来診療担当表

平成22年6月1日現在

		月		火		水		木		金	
午前	一診	二診	一診	二診	一診	二診	一診	二診	一診	二診	
	赤木	小川	交代制		赤木		矢野		赤木		
午後 【予約】	小川（予防接種外来）		宮田（腎外来）		赤木、小川（乳児健診、 予防接種外来）		赤木（アレルギー外来）		赤木（アレルギー外来）		

### 大阪船員保険病院の理念

理念：やさしさと安心の医療で人々につくします

基本方針：1. 患者さんの立場にたった適切な医療を提供します

2. 地域に信頼される中核病院をめざします

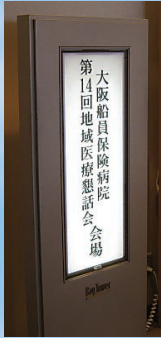
3. 患者さんの権利を尊重します

4. 地域の医療機関との連携を推進します

5. 病院職員は、より高度の医療を提供できるよう研鑽に努めます

6. 病院経営の効率化を図り、健全経営に努めます

## ～地域医療懇話会を開催しました～



去る6月26日（土）、弁天町のホテル大阪ベイタワーにて第14回地域医療懇話会を開催いたしました。

今回で14回を迎えました懇話会は、大阪市港区とその近隣の地域で開業されている先生方に当院のことを知っていただき、さらに率直なご意見などもお聞かせいただいで円滑な医療連携、地域への医療貢献を目的に毎年開催させていただいております。



今年は港区を始め近隣地域の先生方28名にご出席をいただきました。大変お忙しい中、また当日はお足下の悪い中ご出席いただきましたことを深く御礼申し上げます。

第一部の診療紹介では「糖尿病合併症のマネジメントを考える」と題しまして、当院での糖尿病合併症治療について紹介させていただきました。越智内科部長による「糖尿病性腎症について」、檀上眼科部長による「糖尿病性網膜症について」、日笠形成外科部長による「当院における糖尿病性足潰瘍の治療について」の3題を発表させていただきました。



生野内科クリニック  
生野先生

続いて特別講演といたしまして、大阪大学から内分泌・代謝内科特任研究員、岸田堅先生をお招きして「大阪大学における糖尿病・メタボリック医療の取り組み」をご清聴いただきました。昨年までは各診療科の得意分野や先端治療について紹介させていただきましたが、今回の試みとして、一つの病気に対してそれぞれの診療科からどのような治療ができるのか、について紹介させていただきました。講演後に行われた懇親会の中で、先生方からは「テーマが一貫しており聞きやすく、興味深かった」とのお声を頂戴することができました。今後も当院ならではのチーム医療について発信し続けていきたいと存じます。



その第二部懇親会ですが、短い時間ではございましたが先生方から直接色々な話をお伺いすることができ、大変貴重な機会となりました。

これからも大阪船員保険病院は地域の先生方、皆様方に信頼される病院となるよう、院長以下職員一同、努力して参る所存でございます。

今後ともよろしく願いいたします。